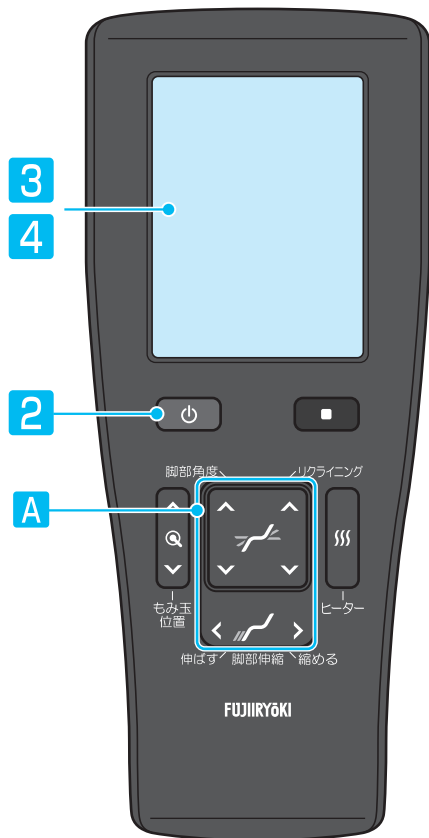


SKS-4000 カンタン操作ガイド

自動コース



1 枕を後に回して、座る。

2 を押す。

- コースメニュー選択画面が表示されます。
- 背もたれ部 / 脚部が動作しスタンバイ位置になります。

A さらに背もたれ部 / 脚部をお好みの位置に調節する場合は、リクライニング / 脚部角度の で調節してください。脚部の長さには、脚部伸縮の で調節してください。

3 **30分専門** **全身** **ストレッチ** **首・肩** **腰** から

お好みのコースメニューを選択し、さらにお好みのコースを選択する。背筋ライン及び肩位置を検出するので、深くしっかり腰掛けて頭を背もたれに付けるようにもたれる。

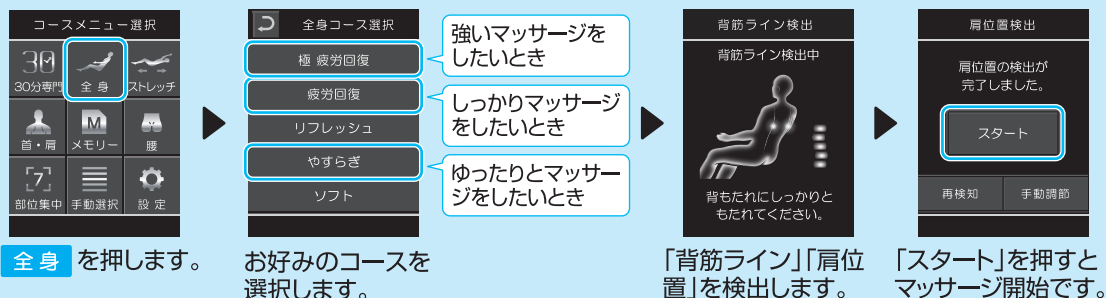
- 一部コースは、背筋ライン及び肩位置を検出しません。

4 検出完了後、「スタート」を押すとマッサージを開始する。

- 「スタート」を押さなくても、約7秒後にはマッサージが始まります。

※液晶画面はタッチパネルになっています。指で押して操作してください。

【オススメ】全身コースの選択のしかた



自動コース

30分専門	全身	首・肩	腰	ストレッチ	メモリー
VIPコース ソムリエコース スローストレッチ エアリラクゼーション	極 疲労回復 疲労回復 リフレッシュ やすらぎ ソフト	極 疲労回復 疲労回復 リフレッシュ やすらぎ	極 疲労回復 疲労回復 リフレッシュ やすらぎ	極 全身ストレッチ 全身ストレッチ 全身エア	メモリー

※自動コース中の細かな調節は裏面をご覧ください

自動コース動作中の調節

もみ技マッサージの強さを調節したいとき

「もみ玉強さ」の **←** で弱く、**→** で強く調節する。

- 7段階から選択できます。

足裏ローラーの強さを調節したいとき

「ローラー」を押すごとに、強さが「3」→「OFF」→「1」→「2」…と切り替わる。

- コース開始時、強さは「2」に設定されています。

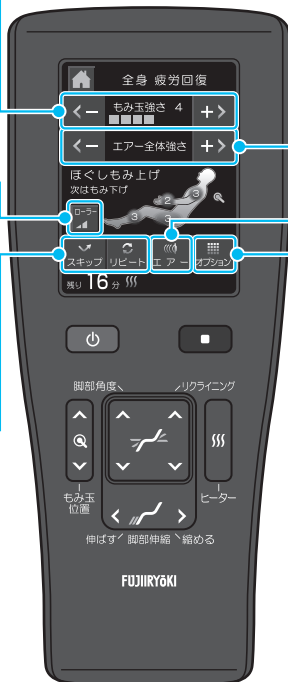
スキップ/リピートしたいとき

「スキップ」を押すと、次のもみ技に進む。

「リピート」を押すと、今のもみ技を繰り返す。

- リピートを押すと、今のもみ技をさらに約30秒間続けて行います。
- リピート中にスキップを押すとリピートは解除されます。

※自動コースの簡単操作については表面をご覧ください



※選択しているコースによって調節・設定できない項目があります。

エアーマッサージの強さを調節したいとき

【全体を一括調節する場合】

「エア全体強さ」の **←** で弱く、**→** で強く調節する。

【部別別に調節する場合】

①「エア」を押す。

②部別別にお好みの強さを選択する。
← で弱く、**→** で強く調節する。

③ **決定** を押す。



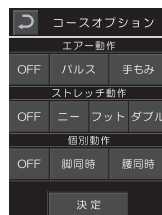
コースオプションを設定したいとき

①「オプション」を押す。

②「エア動作」「ストレッチ動作」「個別動作」から設定したい動作を選択して押す。

③ **決定** を押す。

- 同時に設定できない動作があります。



ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

警告

- (1) 使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。
破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
- (2) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- (3) アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- (4) 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- (5) マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- (6) 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- (7) 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服（ズボンなど）のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- (8) 手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・プレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- (9) 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている人
(例：血栓〔そく（塞）栓〕症、重度の動脈りゅう（瘤）、急性静脈りゅう（瘤）、各種皮膚炎および皮膚感染症（皮下組織の炎症を含む）など）
- (10) 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師と相談のうえ、使用する。（詳しくは取扱説明書を参照）
- (11) お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- (12) お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- (13) ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間触れるような使い方をしない。
- (14) 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。